

平成 27 年度 学校評価について

1 はじめに

学校評価内容は、教職員、児童生徒、保護者の評価項目の内容全ての見直しを行い、教職員については、教育課程、テーマ研修、自立活動、進路指導、生徒指導、保健・安全、人権、個人情報、服務規律等において重点的に取り組む必要のある項目に精選した。また、児童生徒及び保護者の評価においては、それぞれが取り組みやすい内容や項目数で実施した。

評価の方法については、以下のとおりである。

(1) 段階評価

- 4：十分達成できている（そう思う）
- 3：おおむね達成できている（ややそう思う）
- 2：やや不十分である（あまりそう思わない）
- 1：不十分である（そう思わない）

(2) 成果と課題の捉え方

- 成果 4の割合が 『5人に2人以上』・・・40%以上
- 課題 1及び2の割合が 『5人に1人以上』・・・20%以上

(3) 自由記述欄について

評価項目と関連付けて分析及び解釈する

(4) 最終評価の集計結果

※ 教職員の回収率：100%

アンケート種別	回収率	小学部	中学部	高等部
保護者	75.8%	71 / 89人	53 / 67人	67 / 96人
寄宿舎保護者	71.4%		5 / 6人	10 / 15人
児童生徒	26%	19 / 90人	13 / 68人	35 / 100人
寄宿舎生徒	52.4%		5 / 6人	6 / 15人

2 集計結果

(1) 教職員

番号	項目	4	3	2	1	成果	課題
1	一人一人の伸びゆく力に応じたきめ細やかな教育を行っていますか。	29	110	3	0	20.4%	2.1%
2	児童生徒のことや授業の打合せ，振り返りなどをみんなで語り合っていますか。	35	96	11	0	24.6%	7.7%
3	単元・題材ごとの授業実践後に指導計画の振り返り（単元・題材の意義，価値の確認も含む）ができましたか（中心的に取り扱う教科等は，各課程で設定）。	27	98	17	0	19.0%	12.0%
4	教育活動全般において，個別の教育支援計画や個別の指導計画，あいあいシートなどを活用した授業や指導・支援をしていますか。	11	105	26	0	7.7%	18.3%
5	個々の児童生徒の学習上又は生活上の困難さを適切に把握した上で，改善・克服できるような指導計画を作成し，そのための指導ができていますか。	22	114	6	0	15.5%	4.2%
6	鹿児島養護の教育（IX 進路指導）の目標や各学部指導目標・指導内容を参考にしてキャリア教育を意識し実施していますか。	12	96	34	0	8.5%	23.9%
7	鹿児島養護学校キャリア教育全体計画や進路指導学習計画（高等部版）を参考にして児童生徒一人一人の社会参加・自立を目指したキャリア教育を実施していますか。	14	91	37	0	9.9%	26.1%
8	いじめ防止に向けて，学校として人権意識の向上や具体的な指導に取り組んでいますか。	37	100	5	0	26.1%	3.5%
9	生徒指導上の諸問題に対して組織的に取り組むことができていますか。	36	98	8	0	25.4%	5.6%
10	児童生徒が安全・安心した学校生活を送ることができるように，環境を整えていますか。	60	81	1	0	42.3%	0.7%
11	搜索，災害時，不審者，発作時対応等，緊急時の体制は整っていますか。	53	85	4	0	37.3%	2.8%
12	児童生徒の人権に配慮した指導・支援，言葉掛けを行っていますか。	52	85	5	0	36.6%	3.5%
13	児童生徒の個人情報，厳正に保護・管理していますか。	64	74	4	0	45.1%	2.8%
14	保護者や県民の信頼に応えられるような服務規律の厳正確保に努めていますか。	65	74	3	0	45.8%	2.1%

※ 無回答の項目もありました。

(2) 保護者（学校）

番号	項目	4	3	2	1	成果	課題
1	お子さんは、学校生活を楽しんでいますか。	136	46	9	0	71.2%	4.7%
2	学校の教育活動全般に対して満足されていますか。	86	88	15	2	45.0%	8.9%
3	P T A活動については無理なく参加できていますか。	66	92	25	7	34.7%	16.8%
4	お子さんのことで困ったことや悩み等があるとき、先生たちに相談しやすいですか。	102	69	16	4	53.4%	10.5%
5	学校参観や行事等で学校を訪れる機会は適切に設定されていると思いますか。	91	85	12	3	47.6%	7.9%
6	お子さんの実態や成長の様子など、担任から分かりやすく説明を受けていますか。	103	76	7	5	53.9%	6.3%
7	連絡帳や週報、学校便りなどでお子さんの学校での様子等が伝わっていますか。	109	75	4	3	57.1%	3.7%
8	学校便り、保健室便り、進路便りなどの情報提供は役立っていますか。	106	78	6	1	55.5%	3.7%

※ 無回答の項目もありました。

保護者（寄宿舍）

番号	項目	4	3	2	1	成果	課題
1	お子さんの生活力の向上を図る支援を行っていると思いますか。	11	3	1	0	73.3%	6.7%
2	お子さんが主体的に責任感をもったり、仲間意識を高めたりできる指導を行っていると思いますか。	9	6	0	0	60.0%	0%
3	お子さんの健康や安全に対する意識を高める指導を行っていると思いますか。	11	3	1	0	73.3%	6.7%
4	御家庭や学部等と連携して、個に応じた指導に取り組むことができていると思いますか。	9	5	1	0	60.0%	6.7%
5	お子さんの理解に努め、人権に配慮した生徒への支援・言葉掛けを行っていると思いますか。	11	2	2	0	73.3%	13.3%
6	お子さんが安心して過ごせる衛生的な環境の整備に努めていると思いますか。	13	2	0	0	86.7%	0%

3 成果及び課題等

(1) 教職員

教職員の成果としては、最終評価結果が全体的に中間評価より数値が上がり、前年度と比較しても気になるほど数値が下がった項目はなかった。項目別では、「3 授業の振り返りの確保」が、年度後半は実施できたことから評価も上がり、職員も相互研修の機会になっているという認識ができたからではないかと考える。

課題としては、「キャリア教育の共通理解と実践」や「個別の指導計画を踏まえた実践」などの点について全体的な課題として捉え、学校評価委員会で基本的な方向性を出した後、関係する部や係内で再度改善策や回答について検討を行った。

(2) 保護者

全ての項目で高い評価であった。しかし、自由記述をみると、担任への感謝の気持ちがある一方、学校行事や授業参観、学習活動などについて厳しい指摘も一部見受けられた。このことを一人一人の教職員が真摯に受け止め、学校行事の在り方や授業参観の方法等を検討するとともに、保護者に内容の意図や意義などについて丁寧に説明していくようにしたいと考える。

数値結果や自由記述を受け、学校評価委員会や各関係部、学部、係で改善策・回答を検討し、中間と最終評価後に保護者に改善案・回答とともに紙面で報告をした。

4 最後に

成果については更に努力し、課題については今後も十分に検討をしていく。

学校評価は、本校児童生徒がよりより教育活動ができるよう学校運営の改善と発展のために、これからも継続して取り組んでいきたい。



50周年記念大壁画 制作者：平成27年度在籍 全児童・生徒・教職員

50周年記念マスコット「リーフィフティ」（略称 リーフちゃん）